

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp



▲地域を盛り上げてください!!

その後、笠懸公
(敬称略)
5区 小野 清一
4区 笠原 大介
●副会長
3区 武井 寛
●会長

あるいは更に活性化していただき、地区全体の教育力の向上につなげてください」と話していました。
委嘱状交付式終了後に行われた、第1回笠懸町地区公民館連絡協議会で、本年度の役員が次の通り、選出されました。

令和6年度 笠懸町地区公民館連絡協議会名簿 (敬称略)

区	役職	氏名
1	館長	川崎 翔太
	主事	金子 勇人
	主事	赤石 守
2	館長	櫻井 伸悟
	主事	橋本 徹
	主事	藤生 幸佑
3	主事	高橋 大輔
	館長	◎武井 寛
	主事	金子 忠司
4	主事	中村 正義
	館長	○笠原 大介
	主事	関口 堅一
5	主事	石内 聡
	館長	○小野 清一
	主事	小島 崇司
	主事	田部井 秀行

◎会長 ○副会長

区	役職	氏名
6	館長	荒木 順一郎
	主事	高橋 雅彦
	主事	斎藤 雅之
7	主事	清水 貴志
	館長	本木 祐基
	主事	金子 和彦
8	主事	吉田 貴彦
	主事	藤原 徹
	館長	新井 紀広
9	主事	渡邊 聡
	主事	深澤 正行
	館長	大澤 弘樹
10	主事	和田 雅稔
	主事	小熊 計人
	主事	友永 哲也
	館長	田口 正人
	主事	茂木 和信
	主事	大豆生田 克巳

令和6年度みどり市笠懸町地区公民館長および主事の委嘱状交付式と第1回笠懸町地区公民館連絡協議会が4月25日(休)に笠懸公民館で開催されました。
保志守教育長から代表の

武井館長(第3区)に委嘱状が交付されました。教育長はいさつで「昨年度はポストコロナを象徴する1年で、各地区で納涼祭などのイベントが盛大に再開されました。この流れを維持

民館より地区公民館の役割や、今年度の活動計画の確認、各種制度の説明がありました。
地区公民館は、地域住民による運営を基本として、生涯学習活動及び社会教育

活動を実践し、各地域の自主性を活かした地域コミュニケーションの拠点です。
納涼祭をはじめ様々な地域イベントの企画・運営、地域課題の解決など「人と人」「人と地域」をつなぐ架け橋として各地区公民館長及び主事の方には、仕事をもちながら地域のリーダーとして活躍されることを期待しています。

地域の集うをつなぐ

委嘱状交付式

公民館を支える人たち

職員

◆館長 割田 隆久

4月の人事異動により館長となりました、割田です。個人的には23年ぶりの笠懸公民館での勤務となり、戸惑うところもありますが、公民館を利用する方々が楽しく学べるよう、皆さんと活動していきたいと思っています。また、市民の方々に協力いただきながら、多くの方に利用いただける公民館を目指していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

◆副主幹 飯塚 由美子

コロナ以来、以前よりも



▲板谷主査、飯塚副主幹、割田館長、川崎主事補、藤生主事

公民館活動中の換気に気を遣うようになり、部屋の入口や窓を開けて活動するグループが多くなりました。皆さんの練習の様子や笑い声がよく聞こえて、難しい仕事をしている時でも、明るい気分になります。今年度も1年間、より楽しい公民館活動ができるよう、協力していきたいのでよろしくお願いします。

◆主査 板谷 盛明

笠懸公民館勤務2年目を迎えました。業務では常に明るく楽しくを心がけています。皆様と一緒に素敵な時間を過ごせることを楽しみにしています。

また、映画やドラマ鑑賞が趣味なので、お薦めの作品などあればぜひ教えてください。

◆主事 藤生 咲喜

笠懸公民館で働き始めて2年目になりました。昨年度は入職して初めての職場が笠懸公民館で、市民の方にはたくさんお世話になりました。今年度も市民の方に公民館活動をより楽しんでいただくために精一杯頑張りたいと思います。まだまだ分からないことも多いですが、今年度もよろしくお願いいたします。

◆主事補 川崎 彩乃

今年度の4月から新人職員として勤めています。私は今年度、市民講座や高齢者大学、笠懸地域文化祭の担当になりました。地域の皆さんが楽しみながら学べる事業を行っていきたいと思います。初めての主催事業でとても不安ですが、持ち前の明るさと笑顔で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

会計年度任用職員

◆大澤 弘江

公民館の花壇に咲く花に私はいつも癒されながら、館内外の清掃に勤めてまいりましたが、残念ながら花の会が終了してしまいポツンと心に穴が空いた感じがします。これからも変わらず皆様方に気持ち良くご利用して頂けるよう努めます。

◆鈴木 亜由美

今年度も引き続き勤めさせていただきます。新しいサークルも増え

シルバー派遣職員

◆伊部 三代治

夜間管理業務を担当させていただきます。気持ちのよい、楽しい活動になりますよう、努めてまいります。よろしくお願いします。

◆須永 勝士

夜間管理業務でお世話になります。皆さんのサークル活動が笑顔で楽しく出来ますよう応援とお手伝いをさせていただきます。お気

で、皆さんの活動から元気をいただいています。楽しいサークル活動が行えるよう努めたいと思いますので、よろしくお願いします。

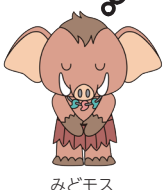
◆井上 ゆかり

今年も笠懸公民館に勤めさせていただきます。宜しくお願い致します。各サークルの皆さんのパワーをいただきながら笑顔でお迎えし、また楽しくつどう場所としての雰囲気作りや美化等に励みながらお手伝いさせていただきます。

◆千島 信夫

こぶしや花木等、四季を彩る花木に囲まれた公民館で、皆様の活動のお手伝いをさせていただくことを幸せに思っています。精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

よろしくおねがいします



みどモス



利用者懇談会の報告 vol.4 (終)

～利用者の会編②～



昨年度、笠懸公民館利用者の会では「公民館ってどんなところ」をテーマに活動してきました。その背景にあるのは、コロナ禍による利用者数の減少や、公民館の役割が伝わっていないという危機感でした。

報告の最終回では、利用者の会理事会でのまとめをお伝えします。

利用者懇談会で出された様々な意見を総括すると、つどうことの意味や公民館無料の原則は、誰もが学ぶ権利があり、学んだ知識を社会還元していくということ、その中で人と人とがむすび合っていくことなど、参加した方たちはおぼろげながら感じることはできたのではないかと思います。

しかしこれは序章にしか過ぎません、「つどう」ことでできることや、無料で学ぶことができることを当たり前と考えず、さらにその質を高めることが大切のように思われます。

つどう・まなぶ・むすぶ

笠懸公民館利用者の会第1回理事会が4月25日(木)に開催されました。

5月30日(木)に開催される利用者の会総会について確認が行われ、役割分担などが話し合われました。また6月16日(日)に開催される大

掃除についてもチラシの確認などがされました。利用者の会で大切にしているものは、「つどう・まなぶ・むすぶ」という3つです。これは公民館が公民館であるために欠かせない機能で「相互成長」が求められます。

今後の課題として、多くの利用者に広めることが不可欠と思われる。

地域を元気に!! 文化祭を企画

笠懸地域文化祭第2回企画広報部会が、4月11日(木)に開催されました。

笠懸地域文化祭開催までのスケジュールと検討課題について確認されました。

また、第1回実行委員会の日程が6月21日(金)に決まりました。

ポスター公募は、みどり市民や市外で笠懸に関心のある人を対象に募集します。



▲第1回理事会の様子

令和6年度 みどり市公民館主催「こうみんかんdeスタディ」 学習支援ボランティア募集中!

夏休みの子どもの勉強をサポートしませんか?

- ・子どもが好き
- ・教員を目指している
- ・就活や単位取得のためボランティア経験がほしい
- ・退職後、自由な時間が増えた
- ・地域に貢献したい・・・

そんなみなさんのお申込をお待ちしております!



日時 7月23日(火)～26日(金)
7月30日(火)～8月2日(金)
【午前の部】 9:00～12:00
【午後の部】 13:00～16:00

- ◇会場 笠懸公民館
◇対象 みどり市及びみどり市近郊に在住する高校生以上の方
◇謝礼 1回750円(交通費・所得税込)
※1日に午前・午後両方参加する場合は2回とカウントします。
- ◇申込方法 笠懸公民館に窓口・電話・メールのいずれか
※名前、住所、電話番号、年齢、(学生の場合)学校名、参加できる日程を教えてください。
※窓口・電話受付時間: 火～日 9:00～17:00
- ◇申込期限 令和6年6月17日(月)まで
◇お問い合わせ 笠懸公民館
TEL 0277(76)2211
E-mail kougminkan@city.midori.gunma.jp



QRコード



▲昨年の文化祭の様子 (ミニトレイン)

岩宿の里で 体験学習



今年度も、岩宿の里米っこクラブの農業体験学習が始まりました。小学生親子たちが対象の全8回です。

4月20日(土)10時から岩宿の里公園で開講式と第1回の古代米の種まき、サトイモの種植えが行われました。晴天にも恵まれ、古代米の会の方々に手伝ってもらい、約30名が赤米、黒米の2種類の古代米の種をまき、サトイモの種芋を植え付けま



▲古代米の種まきに挑戦中！

した。

次の田植えから、かかし作りや秋の稲刈り、しめ縄作りまで、普段食べているお米が出来る上がる様子を、みどり市の自然を感じながら楽しんでほしいです。

今年度も作業後にはコジョハン(軽食)を古代料理研究会の方々が朝から手間暇かけて作ってくれました。今回は2種類のお饅頭(あんこと野沢菜)でした。

春の神事

だいたい

横町太々神楽

みどり市指定重要無形文化財の「横町太々神楽」の春季祭典が、4月7日(日)に行われました。

阿左美の秋葉神社に伝わる横町太々神楽は100年以上に渡って伝承され、毎年春と秋の2回、境内の東第2学童所で披露される神事です。笛、鐘、太鼓のお囃子に合わせ、日本の神話を題材に12の演目があり、厳粛な雰囲気の中、神事舞からユーモラスな興舞と地域の方々に親しまれてきまし

コラム 豆電球



左腕投手が なぜサウスポー？

野球で左腕投手のことをサウスポーという。あまり野球に詳しくない方でも、この言葉ぐらいは聞いたことがあるだろう。1880年代に使われるようになったといわれているが、考えてみればおかしいもので、ポーには人間の手という意味が

あり、サウスポーは南という意味だ。しかし、左という意味が見当たらない。なぜ野球の世界では南の手が左腕になったのだろうか？

実は、野球規則第一条の四項にこんなくだりがある。「本塁から投手板を経て二塁に向かう線は、東北東に向かっていることを理想とする」

つまり、球場はマウンドを中心として、センター方向が東、本塁方向が西、一塁方向が南、三塁方向が北であることが好ましいということだ。これは、太陽光線が打者の目に入らないように、という理由から決められたものらしい。

ちよつと整理してみると、ピッチャーがマウンドに立ったとき、左手は一塁方向にあることになる。つまり、左利きのピッチャーは南側の手で投げられるようになったというわけだ。



▲春の訪れ、神楽奉納

た。

現在は後継者不足などの問題はありますが、市内の芸能祭やお祭り、イベントなどに出演することもあります。多くの方に観覧してほしいと思います。

横町太々神楽保存会 会員募集

一緒に伝統芸能を
継承しませんか??



横町太々神楽保存会では、伝統文化である神楽を守り続けるため、新しいメンバーを募集しています!! 初心者も大歓迎♪

【募集要項】

年齢・性別不問 / 神楽に関する経験や知識は不問
/ 活動に参加できる週数や時間に制限はありません

【お問い合わせ】

横町太々神楽保存会会長 久保田 まで (Tel: 090-1045-8583)

足尾鐵道の歴史

大間々博物館で企画展

大間々博物館の企画展「わたらせ渓谷鐵道への軌跡」足尾鐵道全線開通110年記念」が2月23日(金)から4月14日(日)まで開催されました。

わたらせ渓谷鐵道の前身である足尾鐵道は、もともと足尾銅山の銅を輸送するため1910年に敷設を開始、1914年に全線開通しました。当初は銅以外にも木材・薪炭・マンガン・花崗岩(沢入御影石)などの輸送で大いに活躍していました。しかし、これらの需要が減少し、さらに



▲ 1939年まで活躍していた 3070系

1973年の足尾銅山閉山に伴い、貨物の量も乗車人数も一気に減少していきま

した。そして1979年に国鉄改革が始まると、1982年には足尾線も廃止路線の対象になってしまいました。対象から除外される条件は「ラッシュ時ラッシュ区間千人以上の乗車」でした。桐生から足尾の沿線住民らは必死に乗車運動を展開しました。鐵道に乗るためのバスを出したり、祭りパレードをしたりして、何とか条件を達成し廃止は免れました。当時は通学に利用する学生だけでも500人ほどいたそうです。大型バス10台分ですから、沿線住民にとって鐵道の存続は本当に切実な願いだったでしょう。

その後1987年に国鉄がJRになると、同年に第三セクター化が決定、1989年にわたらせ渓谷鐵道が誕生しました。現在はトロッコ列車など観光に力を入れています。日本全体で人口が減少する中、

地方における鐵道の存続はますます難しくなっています。

沿線住民がわたらせ渓谷鐵道をどれだけ必要としているか、これが存続のポイントではないでしょうか。



▲ 1960年代の草木地区

輝く女性たち
婦人会総会

笠懸町婦人会(曲澤節会長)の定期総会が、4月26日(金)に笠懸公民館で開催されました。

来賓の割田隆久館長と藤生咲喜主事の挨拶の後、議事が進行、令和5年度の事業報告や決算報告がなされ、

青空の下、大盛況!!
ダンスイベント

4月27日(土)に、グンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)で「青空ダンスマルシェ」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいました。屋外ステージでは、普段から笠懸公民館を利用しての団体の発表もありました。ヒップホップダンスやフラダンス、ウクレレ演奏などが披露され、来場者を魅了しました。

芝生広場では、おむすびケーキや群馬県産食材のホ

令和6年度の事業計画や予算について承認を得ました。

婦人会の皆さんは、地域のボランティア活動の他、日本赤十字研修や消防研修、また、いつ起こるかも知れない災害に備え、笠懸地域文化祭や、つばさまつり、日本赤十字などでの炊き出し訓練も行っています。日々忙しく頑張っている婦人会の皆さんの活動をこ



▲絆を深めて今年も活動

れからも応援したいと思えます。



▲練習の成果を発表!!

ットドッグなどバラエティに富んだ屋台が並びました。他にも、ボルダリング体験やタイダイ染め体験などのコーナーもあり、子どもたちの交流の場になっていました。

こえの ひろば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

旧花輪小学校記念館に

想いを馳せて FUYUMI

みどりの音楽実行委員の齋藤あいさんが、ぐんま観光県民ライターを務めた際に旧花輪小学校記念館を取り上げ、各所から大変好評をいただきましたので、一部を紹介します。

フランス瓦や白い下見板張りの外壁はヨーロッパ風の洗練が感じられ、当時としては類を見ない立派な建築でした。



▲歴史の重みを感じる

第23回みどり市笠懸地域郷土芸能祭 開催

開催期間 【展示部門】 令和6年6月21日(金)～23日(日)
午前9時～午後5時
(21日は午後1時より、23日は午後4時まで)
【イベント部門】 令和6年6月23日(日)
午前10時30分～
呈茶席(無料) ※先着 100名
【ステージ部門】 令和6年6月23日(日)
午前10時30分～午後4時
会 場 【展示・イベント部門】
笠懸公民館ふるさとギャラリー、ロビー
【ステージ部門】 グンエイホール PAL (笠懸野文化ホール)
主 催 みどり市笠懸地域文化協会
問い合わせ先 笠懸公民館 TEL 0277-76-2211

四季の会 五月句会



砂を浴ぶ雀の子らの屋下がり
薔薇の渦ほぐるる朝の庭に居り
母の日の似顔絵展示児の作品
駆け巡る日本列島花だより
山うつぎ夫の在所の庭に咲く
高津戸峡さんしょの芽を摘む二回目
とどまると思へば歩む蟻の列
カッコウの鳴き声聴こゆ山の寺
新玉ねぎに鰹節かけて昼の膳
野バラ咲く渡良瀬川に陽が沈む
子を背負ひ隣家の嫁ご袋掛け
漁師等に囲まれキス釣る若い衆
小満や君の誘ひを待つ私
カラオケの音量高くがまがえる
麦の穂に詰め寄る空の青さかな
にんにくをたつぷり入れて初鰹
縁側に居座る夏のすずめ蜂
夏めくやきりと締めるつむぎ帯
嫌になる雨後の筍ほり尽くす
我が余生今が幸せ風薫る
菜種干す農家の庭に鳥の鳴く
茗荷の芽一日で伸びる裏の庭
筍の山に來りて座り込む
峠路を越へて咲きたす朴の花
鉄仙花大鉢に咲く我が狭庭
五月人形見て泣く男の子すこやかに
ひなげしの花の揺れるケアホーム
封筒の切手さかさま手毬花
母と叔母しぐさ似てをり髪洗ふ
老鶯の声有り難し朝ごはん
御朱印を受けて嬉しや牡丹寺
ろっ骨にテープぐるぐる夏の旅
湖の宿入れ歯を忘るる夏の旅

中村富喜女 吉野源五郎 中野千鶴 泉純佳 川道ひさ女 国木美代香 松島陽春 平川秋桜 細川由桂 山本舞華 櫻本千春 細川和勘 佐藤由美香 山本歌仙 高野春蝶 高野英磨 横倉雅光 糸井梅光 前原紫蘭 宇野順雪 裾沢春蘭 糸井初音 小林狐一 石原青蓮 小林華笑 徳田夕子 新羅光海 韓百紅 宇野由希子 村田小町 宇野勘大 金月

防災を考える ④

避難所と避難場所

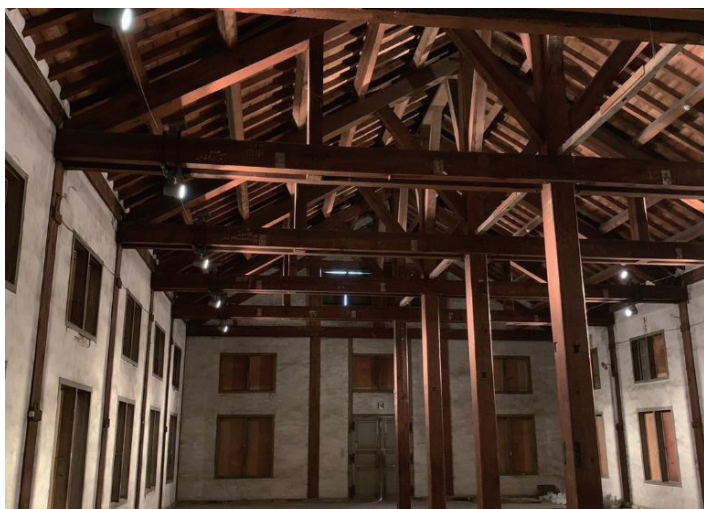
災害発生時、現在いる場所です身の危険がある場合、迅速な避難行動が必要で。避難する場所は「避難所」と「避難場所」の二種類あります。

避難所とは、災害による被害を受けた人または被害を受ける可能性がある人が、一定の期間避難生活をする場所です。

一方で避難場所とは、災害によって身の危険が迫っているとき、一時的に避難する場所です。正式には「指定緊急避難場所」と呼ばれています。

避難所が一定期間避難生活を送る場所であるのに対して、避難場所は津波や洪水などの危険が切迫した状態において、生命の安全確保を目的に緊急に避難する場所、と位置づけられています。

自宅や職場の近くにある避難施設があるのか、確認しておきましょう。



▲建築美 (屋根裏の木製トラス構造)

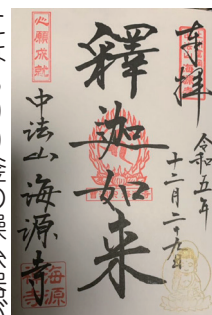
ちは全国から故郷を離れて集まって、慣れない集団労働で、若くして病に倒れ、この地で亡くなった人もいました。海源寺には1873〜1876(明治9)年に亡くなった工女・工男の3基の墓があります。

富岡製糸場は、1872(明治5)年完成の器械製糸を取り入れた西洋式製糸場で、日本で初めての官営製糸場として今も残る、木骨で手焼きレンガ造りの美しい建物です。国が建てた大規模な器械製糸工場は、長さ約140mある繰糸所

上毛かるたに

御朱印レディー

日本で最初の富岡製糸



▲海源寺の御朱印

には300釜の繰糸器が並び、当時の製糸工場としては世界最大規模でした。製糸場の製糸所と東置繭所・西置繭所が国宝に指定され、2014年に近代の絹産業に関する遺産として、ユネスコ世界遺産に登録されました。

官営工場時代に、工女た

列車にゆられて(7)

いすみ鉄道

野利 哲

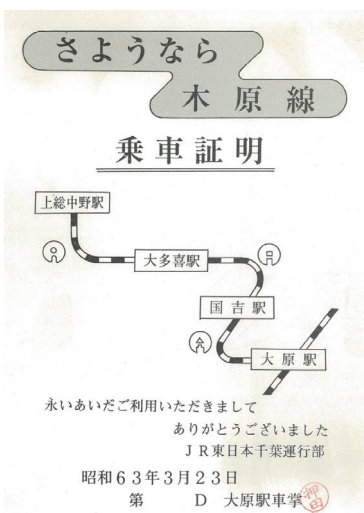


▲いすみ鉄道の車両たち

房総半島を横断するかのようには小湊鉄道といすみ鉄道が走っています。小湊鉄道は前回紹介しました。いすみ鉄道は外房線の大原駅から内陸に向かい、途中大多喜駅を経て終点の上総中野駅までの26.8kmの路線です。上総中野駅は小湊

房総半島を横断するかのようには小湊鉄道といすみ鉄道が走っています。小湊鉄道は前回紹介しました。いすみ鉄道は外房線の大原駅から内陸に向かい、途中大多喜駅を経て終点の上総中野駅までの26.8kmの路線です。上総中野駅は小湊

湊鉄道に接続する乗り換え駅となっています。いすみ鉄道は旧JR木原線でしたが、昭和63年3月に第三セクターとなり今日に至っています。車両は黄色の車体のワンマンカーと急行仕様の国鉄色の気動車が走っています。大原駅を発つと市街地を抜け、田園地帯をエンジンの音も軽やかに山間部へと入ります。城見ヶ丘駅を過ぎ前方の高台に大多喜城の天守が見えてくると大多喜駅となります。約30分の道のりです。沿線は春には菜の花と桜の競演で多くの旅人でにぎわうといえます。大多喜駅から歩いて約15分の所に大多喜城(千葉県立中央博物館大多喜分



▲JR木原線乗車証明書

室)があり、続日本100名城の一つで、多くの城ファンの人がみかけられました。街並みも素敵ですね。房総の小京都と呼ばれるように静かな街並みで、風情を感じ取れます。列車は更に内陸部に向かって進みます。終点の上総中野駅は無人駅で閑散とした田舎の駅でした。反対ホームには小湊鉄道の列車が止まっています。ほとんどの人が小湊鉄道に乗り換えていました。運賃 大原〜上総中野 片道730円 フリーキップ 1500円(土休日用) 1200円(平日用) 房総横断乗車券 2000円 私は房総横断乗車券を利用しました。

かさかけ

どうぶつ家族④

こくくん(9区)

こくくんはお家の娘さんが10才になってすぐの頃にやってきました。当時生後2か月、体がココア色だったので「ここ」と名付けられました。

こくくんが「家族」になって6年、小学生だった娘さんはこの春高校生になりました。中学校では吹奏楽部に所属し、家でサックスの練習をしていると、いつの間にかこくくんがその演奏に合わせて歌うようになったそうです。

取材時には、残念ながらこくくんの生歌声を聴くことはできませんでしたが、2年前に朝の民放系情報番組



▲こくくん

あなたも家族(ペット)を紹介しませんか?!

募集対象 犬・猫・小動物など、どんな種類の動物でも OK※品種や飼い主名等は掲載しません。

【留意点】

- ・編集協力員による対面取材後に、紙面へ掲載します。
- ・次号以降のお友達の家族(ペット)の紹介にご協力ください。
- ・在住区域(行政区等)を掲載させていただきます。

【応募方法】

飼い主の氏名・連絡先・家族(ペット)の情報を電話またはメールで笠懸公民館までお伝えください。

☎0277 (76) 2211

✉kouminkan@city.midori.gunma.jp



QRコード

組でこくくんが紹介された時の動画を見せてもらいました。なるほど、娘さんが演奏を始めると、ビブラートをきかせた見事な歌声を披露しています。

娘さんは高校でも吹奏楽を続けるか分からないそうですが、こくくんとのユニットがこの先も続くことを期待します。

テクテクお城歩き(47)

久保田城 歩遊人

秋田県秋田市にある久保田城は日本100名城のひとつで、神明山に建つ平山城です。

文献によれば慶長9(1604)年、常陸国から出羽秋田に転封された佐竹義宣が築城し、久保田城と命名したようです。

そして、城に石垣が使われていないのは佐竹氏が石垣普請に精通しておらず、得意とする土塁普請になったようです。また、御物頭御番所は長坂門の警備として作られ、久保田



▲久保田城御隅櫓

城唯一の現存する建物です。現在、千秋公園となつている本丸跡には東西隅の御出書院、櫓台をはじめ土塁の跡がよく残っており、東日本の「土造の城」の姿が見られます。

秋田市政100周年記念で、平成元年に造られた御隅櫓は三重4階で資料館となっており、佐竹氏の資料が展示され、一見の価値があるでしょう。

ちょっと一息



「あれ?りかちゃんママ?」と、声をかけられた。義姉の入院手続きで訪れた病院での事。娘の同級生の女の子だった。

小学生の頃しか会った事はないのに、良く覚えていた。ステキな笑顔はきつと患者さんの心の支えになる事でしょう。

「お仕事頑張つてね。義姉を宜しくね」

久しぶりにりかちゃんママと呼ばれてうれしかった。知り合いがいた事にホッとして私は病院を後にした。

(長)

笠懸短歌サークル

四月例会より



忘れじと気仙沼より賜りしワカメの袋の「ガンバルズ」の文字
飛機の行く青空見放くる合唱団「なだそうそう」に沖縄ブルー
行き交ひて他人行儀に名を呼ばれ向けばマスクの友の目が笑む
一斉に花を掲げるもくれんの重量感を足止め見上ぐ

上村 征子
久保田茂子
関口 定夫
平山 勇